



---

## VI—IV 実証講座（ICT ユニット）

---

### 1 開発する教育プログラム

～ICT を活用した交流人口拡大に向けた情報発信～

[アユ ユニット]

～世界ジオパーク戦略～

地域ブランド漁業を担う中核人材の育成プログラム

「能生川のアユの資源増大」

[水族館ユニット]

～飼育、テーマパークの運営～

上越水族博物館（八景島シーパラダイス）との連携学習プログラム

### 2 コマ数および受講者数

①コマ数：2コマ 受講者数：18名（うち女性8名）

②コマ数：2コマ 受講者数：19名（うち女性0名）

### 3 実証講座の受講者数およびのべコマ数

(1) 受講者数計：37名（うち女性8名）

(2) のべコマ数：74コマ

#### 4 実証講座

1	実証講座名	交流人口を増加させるための情報の発信方法（基礎編） ～ソーシャルメディアの活用について～
2	連携先および 講師名	新潟工科大学工学部情報電子工学科 教授 佐藤 栄一
3	実施日時	① 平成28年12月13日（火） 5、6限（2コマ） ② 平成28年12月20日（火） 5、6限（2コマ）
4	実施場所	新潟県立海洋高等学校視聴覚室
5	受講者	① 資源育成コース2年 ② 海洋技術コース2年
6	受講人数	① 18名 ② 19名
7	授業科目名	総合実習
8	実施の概要	外部講師による講演
9	効果および ねらい	ICT機器を用いて交流人口拡大に向けた活動をすることで抑えるべき基本的な知識を学び、今後の活動でどのような情報発信をしていくかを模索する。
10	実施内容	「能生川のアユ情報」の発信や「上越市立水族博物館」および「道の駅マリンドリーム能生」での飼育魚類展示イベントやガイドツアーを行うための企画・実践等の活動を通して、学芸施設を活用した交流人口拡大へ向けて情報発信の基本的な知識を学ぶ。
11	講座の内容	「交流人口を増加させるための情報の発信方法 ソーシャルメディアの活用について」 ① ソーシャルメディアとは？ ② SNSの利用率・目的（年代層の利用とその目的） ③ SNSの種類 ④ SNSの活用事例（Facebook、Instagram） ⑤ インターネットを利用する上での注意

<p>写真1 講演の様子</p>	
<p>12 効果の検証 および課題</p>	<p>講演を聴講しての感想は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNSを利用する際には、今日学習したネチケットなどのルールを守って気をつけていきたい。自分が多くの人に情報を発信する立場になったらマメに投稿・更新していきたい。</li> <li>・ 他の人が興味をもてるように投稿・更新の文章は考えていきたい。海洋高校について情報をわかりやすくアピールしていく。</li> <li>・ 能生川のアユ釣りの魅力を伝えたいので、講演で学んだ広め方を活かしていきたい。</li> </ul> <p>などがあった。</p> <p>課題については、現在の情報教室(水産流通実践室)の教育環境では、情報発信するには厳しい現状である。今年度より、本校にもタブレット端末が20台導入される。タブレット端末導入時に環境整備を行う。今回の講演で基本的な知識を学ぶことができた。今後は、ICT機器について実践的な教育が必要だと考える。今後も継続的に、講演会を開き、活用事例を参考にどのような形で情報発信できるかを考えていきたい。</p>